

もりぴた冬の終わりの過ごし方



▼冬は木々の葉っぱが減り、たくさんの野鳥が観察しやすい季節です。
えさ台に食べ物をまいて、野鳥たちが、食べ物が少なくなるこの季節を安心して乗り越えられるよう、少しだけお手伝いをしています。



▲「削り馬」という、木を固定して削る為の道具が期間限定でもりぴたに登場し、この道具を使って木を削ることにチャレンジしました。
刃物を扱う目は真剣そのもの。自分の手先の動きに集中して作業をしています。夏のもりぴた野球に向けてバットを作成する姿もありました。



▼シーズンを通して遊んできた雪合戦もグランドフィナーレ。チームを組んで作戦を練ったり、局面に合わせて戦法を変えたり。時に「人生で一番良い試合だった」と名言が出ることも。



▲冬の終わりは気温が上がって、雪が固めやすいので、いろいろな造形が楽しめます。
雪遊びの楽しみ方は無限大！



【もりぴたで見つけたよ】
ハシブトガラとコガラはほぼ同様の見た目で、識別は難しいです。クチバシの形と、鳴き声がそれぞれ少し違います。シジュウカラやヤマガラと、混群になってえさ台の餌を食べにきました。

もりぴただより

3月号

発行日

3月24日

ハシブトガラ

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
			オープン デー			面談				ボランティア 受付			運営会議	見学			見学・面談			関係機関 連携会議				ボランティア 受付			運営会議 プログラム 会議			

3月の予定

別れの季節に想う。出会い、別れ。

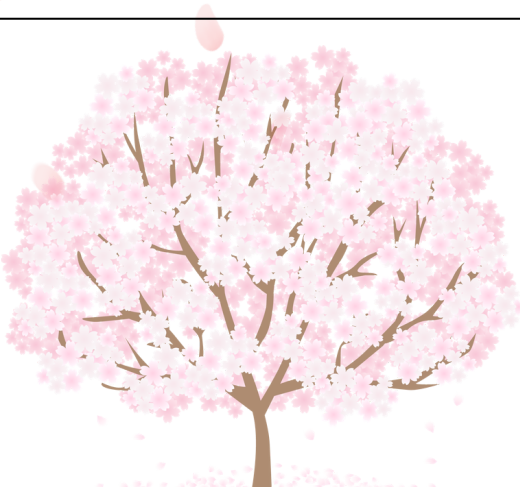
3月は、別れや変化の季節。卒業や進級、進学、あるいは転職など、住み慣れた土地や慣れ親しんだ環境から一歩踏み出し、人との別れを経験する時期でもあります。毎日当たり前のように顔を合わせていた人たちとも、「会おう」と意識しなければ会えない距離感になったり、場合によっては、それが一生の別れになったりすることもあるかもしれません。

そんな「別れ」について、私自身が深く考えさせられる出来事がありました。私事ではありますが、長年応援していた大好きなアイドルグループが昨年末に解散を発表し、3月13日をもって活動を終了しました。ライブに行くこと、新しい曲がリリースされること……。当たり前にとずっと続いていたこと……。当たり前にずっと続いていたこと……。突然終わりを告げられたことで、「ずっと続くこと」は当たり前ではないのだと痛感させられました。「いつかライブに行こう」「また今度配信を見よう」と、次があるが当たり前のように思っていました。が、いざ解散が発表されてからは「あのライブも行けばよかった」「もっとたくさん配信を見ておけばよかった」と、数多くの後悔をしました。

この気づきは、私たちがもりぴたで子どもたち一人ひとりと向き合う時間にも、当てはまることだと感じています。以前もりぴただよりでも《卒業》について取り上げたことがありましたが、もりぴたでは《卒業》を前提として支援を行っています。学校のように卒業の時期が一律で決まっているわけはありません。その子にとっての必要ななくなった時、次のステップへ進む時が卒業となります。そのため、卒業が決まるタイミングも子どもによってそれぞれです。数ヶ月後に卒業を見据えて関わっていく子もいれば、卒業が決まってから利用が残り数回しかないという子もいます。毎週のように顔を合わせて過ごしていると、

「また来週」がいつまでも続くような気がしてしまいますが、どの子にも「最後」の時がやってきます。もし今日が最後の日だったら、目の前の子に私は何を伝えるのだろうか。この伝え方で良かったのか、これを伝えて、あるいは伝えなくて良かったのだろうか。日々の関わりの中で振り返ると、「これで良かったのか」と悩むことはたくさんあります。けれど、だからこそ、今しか伝えることのできないことをしっかりと伝え、今しか見えないその子の姿をしっかりと見ていくことを大切にしたい。この視点は、子どもと関わるときだけではなく、運営面でも大切にしたいと思います。スタッフがお互いにコミュニケーションをとりながら、よりスムーズで心地よい場所であるために工夫を重ねることも、子どもたちとしっかりと関わるために不可欠なことだと感じています。

今年の初め、会議の中で《今年の抱負》を話した際に「今年は全力で推し活をします」と宣言した私を、快く送り出してくれる職場との出会いは、私にとって本当にありがたいものです。もりぴたで過ごした時間を振り返ったときに、大人も子どもも「ここで過ごして良かった」と思える場所であり続けられるよう、日々過ごしていきたいと思っています。(保育士 吉田)



今月のお知らせ

今月の安全対策

年度末が近づき、新年度に向けて各種安全計画の見直しを進めています。一度作成して終わりではなく、環境、人など様々な状況変化を考慮して計画を作成します。気になること、ご不安なことがありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

装備の確認～防水対策 part2～

湿った雪により衣服が濡れる事が多いです。着替えは、もりぴたでお預かりできますので、下着、靴下、上に着るものの着替えをご準備ください。汚れた物を入れる袋も必要です。全てに記名をお願いします。自発的に着替えをしようとする流れができて来ましたが、子ども達の「やる気」のサポートをよろしくお願いします。

3月のもりぴたオープンデー

毎月第2・第4土曜日開催

利用を検討中の方、関係機関の皆様がもりぴたを見学できる日です。時間は30分程度。申し込みフォームより事前にお申し込み下さい。

詳細・申込はこちらから↓



[所在地] 札幌市南区真駒内165-206
[電話番号] 011-211-6882
[HP] <https://moripita.com/>
[スタッフ] 10人
[利用者] 児発：3人、放デイ：27人

自然の恵みを味わう 樹液プログラム

カエデの樹液から取れるメープルシロップは、この時期限定的な自然の恵みです。春の訪れのこの季節、雪解け水を含んだ樹液を、少しおすそ分けさせてもらいました。お店で簡単に買えるメープルシロップも、出来上がるまでは大変な作業工程があります。まずは、適した大きさのカエデの樹を見つけたらドリルで穴を開けて、容器を設置する↓樹液が溜まったら回収↓時間をかけて鍋でグツグツ煮詰める(とにかくこの作業が大変！)↓ようやくメープルシロップの完成！これを3週間ほど毎日繰り返し、樹液15リットルくらいの量から出来上がったメープルシロップは、300ミリリットルくらいの量でした。とりついても貴重！子ども達は、一緒に樹液を回収しにいたり、採りたての樹液を味わってみたりと、意欲的に活動に参加していました。

出来上がった貴重なメープルシロップは、21日のもりぴたカフェでホットケーキに載せておいしく味わうことができました！



来月のプログラムカレンダー

もりぴたでの環境を生かした自然遊びなど、毎日様々なプログラムを行っています。メインプログラムだけではなく、子どもたちのやりたい気持ちに合わせた遊びも行っております。

2026年4月児童発達支援プログラム

曜日	日	月	火	水	木	金	土
児発	1	2	3	4	5	6	7
放デイ	1	2	3	4	5	6	7
児発	8	9	10	11	12	13	14
放デイ	8	9	10	11	12	13	14
児発	15	16	17	18	19	20	21
放デイ	15	16	17	18	19	20	21
児発	22	23	24	25	26	27	28
放デイ	22	23	24	25	26	27	28
児発	29	30	31				
放デイ	29	30	31				

2026年4月放課後等デイサービスプログラム

曜日	日	月	火	水	木	金	土
児発	1	2	3	4	5	6	7
放デイ	1	2	3	4	5	6	7
児発	8	9	10	11	12	13	14
放デイ	8	9	10	11	12	13	14
児発	15	16	17	18	19	20	21
放デイ	15	16	17	18	19	20	21
児発	22	23	24	25	26	27	28
放デイ	22	23	24	25	26	27	28
児発	29	30	31				
放デイ	29	30	31				